

J A 佐波伊勢崎 半期開示ディスクロージャー

(令和5年3月~令和5年8月)

令和5年8月末現在



—信頼・改革・貢献—

佐波伊勢崎農業協同組合



〒372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3096-1 TEL:0270-20-1220 FAX:0270-23-8611
URL <http://www.ja-sawa.or.jp>

目 次

I	地域貢献情報	1
1.	地域貢献の全般に関する事項	1
2.	地域からの資金調達の状況	1
3.	地域への資金供給の状況	1
4.	文化的・社会的貢献に関する事項	1
II	財務状況等	2
1.	令和5年8月末（仮決算）の状況	2
2.	貸借対照表	2
3.	損益計算書	3
4.	主要勘定の状況	4
5.	農協法および金融再生法に基づく開示債権(単体)	4
6.	単体自己資本比率	4
7.	有価証券の時価	5

I 地域貢献情報

1 地域貢献の全般に関する事項

J A佐波伊勢崎は、地域農家の協同組織である農業協同組合としてだけでなく、地域の金融機関として、管内の皆様と一緒に様々な活動を行っています。

J A佐波伊勢崎は『信頼・改革・貢献』を経営理念に掲げ、地域の皆様が必要とされる各種サービスの提供を通して、地域から必要とされるJ Aを目指し、利用していただく皆様に安心・信頼・満足をお届けするよう心がけています。また、自然環境を守り、地域の皆様が安心して暮らせる社会の維持発展を、食料提供の立場から支援し、貢献して参ります。

2 地域からの資金調達の状況

当J Aでは、農家組合員はもちろん、地域住民の皆様からも『貯金』をお預かりして、信用事業のみならず、J A事業全体に係わる資金の調達を行っています。

貯金種目としては、主に普通貯金941億円、定期貯金885億円、定期積金17億円で、総額で約1,851億円となっています。(8月末現在)

3 地域への資金供給の状況

当J Aでは、農家組合員をはじめ、地域住民・事業者の皆様や地方公共団体などへもご融資を行い、地域経済への資金需要・発展へ貢献しています。また、日本政策金融公庫(農林水産事業・国民生活事業)等のご融資のお申込取り次ぎも行っていきます。

ご融資目的としては、農業関連資金28億円をはじめ、資産運用資金96億円、住宅ローン270億円、カーローン10億円等で、総額で約517億円となっています。(8月末現在)

4 文化的・社会的貢献に関する事項

J A佐波伊勢崎は、次の様な活動により、各種事業を通して地域の皆様に貢献出来る様努めています。

- ① 安全・安心な地元農畜産物の学校給食への供給
- ② 年金友の会・女性組織協議会・助けあい組織「たんぽぽの会」を通じた健康活動への取組
- ③ 農業まつり・産業祭等の各種イベントの開催
- ④ 消費宣伝活動を通じた地元産農産物のPRへの取組
- ⑤ 子ども食堂への地元産規格外野菜などの提供を通じた地域貢献活動
- ⑥ 法律相談、税務相談、年金相談を無料で開催
- ⑦ 小・中学校を対象とした絵画・書道コンクールの開催
- ⑧ バケツ稲作り・学校農園・親子料理教室等を通じた食農教育への協力
- ⑨ 小学生の職場見学や中学生の職場体験の受入
- ⑩ 農畜産物直売所における安全・安心・新鮮な農畜産物の供給
- ⑪ 食農教育実践のため、管内小学校と地域の図書館へちゃぐりん誌の寄付
- ⑫ 地域の行事・イベントへの協力・協賛
(いせさきまつりへの神輿参加・JA佐波伊勢崎杯少年野球・少年サッカー大会の後援等)
- ⑬ J Aのラジオ番組を通して農畜産物情報などの発信
- ⑭ インスタグラムを通して、J Aの活動や地域農業などの情報の発信
- ⑮ 新入学児童、生徒(小学1年生・中学1年生)への交通安全資材の寄贈による交通事故未然防止活動

II 財務状況等

1. 令和5年8月末（仮決算）の状況

日本経済は、世界的な物価高に影響され様々な物の値段が上がり、日銀の長期金利政策の修正や中東の地政学的リスクなどから景気の後退入りが見込まれております。そういった状況下で、信用事業は投資信託への資産の預け替えなどにより、貯金残高は1,851億円と4億円の減少となりました。また、貸出金は住宅ローンについては7億円実行、農業融資については農業金融専任担当者を増員し、農業者への訪問活動を強化したことで6億円実行となるなど、総貸出金残高は517億円、貸出金純増1億円となりました。

信用事業総利益については、運用利回りの低下にともない、事業収益を上げることが困難な状況下において、農業・地域における金融仲介機能を発揮することで、JAバンクの存在意義を高めるとともに、貸出資産の積上げや投資信託の販売強化を行った結果、473,276千円（計画比106%）の実績でした。

JA全体の事業につきましては、信用・共済事業の収益の減少がありましたが、営農購買事業等の収益の増加もあり、事業総利益は1,540,785千円（計画比105%）と、当初計画を上回り、事業管理費も減少したことで、経常利益は336,537千円（計画比147%）、税引前当期利益は333,545千円（計画比141%）と、当初計画を上回りました。

2. 貸借対照表（令和5年8月末現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
1. 信用事業資産	182,229,676	1. 信用事業負債	185,972,355
（1）現 金	613,562	（1）貯 金	185,127,820
（2）預 金	123,059,551	（2）借 入 金	4,001
（3）有価証券	6,514,340	（3）その他の信用事業負債	840,534
（4）貸 出 金	51,734,675	2. 共済事業負債	779,106
（5）その他の信用事業資産	389,364	3. 経済事業負債	695,301
（6）貸倒引当金	△ 81,818	4. 設備借入金	355,500
2. 共済事業資産	1,032	5. 雑 負 債	325,628
3. 経済事業資産	1,362,453	6. 諸引当金	1,004,364
4. 雑 資 産	434,633	7. 繰延税金負債	14,737
5. 固定資産	7,711,571	8. 再評価に係る繰延税金負債	536,608
6. 外部出資	8,831,643	負 債 の 部 合 計	189,683,603
7. 繰延税金資産	120,378	（純資産の部）	
		1. 組合員資本	10,118,911
		（1）出資金	2,479,166
		（2）利益剰余金	7,652,906
		（3）処分未済持分	△ 13,161
		2. 評価・換算差額等	888,875
		（1）その他有価証券評価差額金	△ 458,598
		（2）土地再評価差額金	1,347,474
		純 資 産 の 部 合 計	11,007,786
資 産 の 部 合 計	200,691,390	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	200,691,390

3. 損益計算書 (令和5年3月1日から令和5年8月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	1,540,785	(9) その他事業収益	421,720
(1) 信用事業収益	663,551	(10) その他事業費用	276,138
資金運用収益	617,028	その他事業総利益	145,581
役務取引等収益	32,698	2. 事業管理費	1,363,479
その他事業直接収益	-	(1) 人件費	1,056,402
その他経常収益	13,824	(2) 業務費	47,440
(2) 信用事業費用	190,274	(3) 諸税負担金	62,016
資金調達費用	15,283	(4) 施設費	193,603
役務取引等費用	31,168	(5) その他事業管理費	4,017
その他経常費用	143,822	事業利益	177,306
信用事業総利益	473,276	3. 事業外収益	170,298
(3) 共済事業収益	432,446	4. 事業外費用	11,067
(4) 共済事業費用	39,170	経常利益	336,537
共済事業総利益	393,276	5. 特別利益	6,779
(5) 購買事業収益	1,832,255	6. 特別損失	9,771
(6) 購買事業費用	1,489,038	税引前当期利益	333,545
購買事業総利益	343,216	7. 法人税、住民税及び事業税	92,255
(7) 販売事業収益	485,658	8. 法人税等調整額	-
(8) 販売事業費用	300,223	当期剰余金	241,290
販売事業総利益	185,434		

4. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和5年2月末	令和5年8月末	増減
貯金	185,616	185,127	△ 488
貸出金	51,563	51,734	170
預金	123,612	123,059	△ 553
有価証券	6,460	6,514	53

5. 農協法および金融再生法に基づく開示債権(単体)

(単位：百万円)

債権区分	令和5年2月末	令和5年8月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	250	279	29
危険債権	276	249	△ 26
要管理債権	0	0	0
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小計	0	0	0
正常債権	52,191	52,223	31
合計	52,718	52,752	34

6. 単体自己資本比率(国内基準適用)

令和5年2月末	令和5年8月末
12.42%	12.70%

(注) 令和5年8月末の比率は、次の方法により算出しています。

- 1 基本的に令和5年8月末の数値を用いて計算していますが、8月末時点の額を把握できないものについては、令和5年2月末の残高を使用しています。
- 2 令和5年2月末から令和5年8月末までの間に、特別に債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき、必要な修正をしています。

7. 有価証券の時価

(単位：百万円)

保有区分	令和5年2月末			令和5年8月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
満期保有目的	100	101	1	100	100	0
その他保有目的	6,772	6,360	△ 411	6,872	6,414	△ 458
合計	6,872	6,461	△ 410	6,972	6,514	△ 457

(注) 令和5年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- 1 8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は取得原価または償却原価によっています。